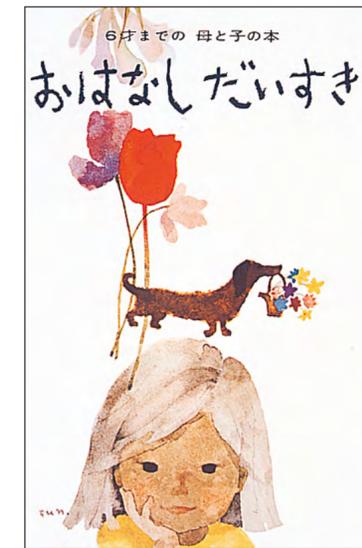


あかちゃんのための文学を

松谷みよ子氏はかつてこう語っています。
「赤ちゃんの絵本をつくろうという話がおこったのは、『おはなしだいすき』(1964年 童心社)の中で0歳から1歳の“ゆりかごの時代”の赤ちゃんへの語りかけの詩を書いた頃からなのよ。(中略)赤ちゃんに精神が芽生えはじめたこの次期に、やはり子守唄やわらべ唄で、美しい日本語を伝えたいし、よい絵本で育てたい。妥協のない文と絵でね。」*

そして1967年、『いないいないばあ』は日本初の0歳児向けの絵本として刊行されました。

*月刊『絵本』(1974年10月号 盛光社刊)より



『おはなしだいすき』
1964年刊(現在休版)

この本には、絵本『いないいないばあ』の原点ともいえる詩が掲載されています。

『いないいないばあ』 松谷みよ子／作

ママがいないいないばあ
パパがいないいないばあ
のんちゃんがいないいないばあ